

平成26年2月大雪に伴う石油挽回輸送の実施について

平成26年3月12日
日本貨物鉄道株式会社

関東・甲信越内陸部で消費される灯油等の石油製品の76%は、当社が運行する貨物列車で供給を行なっておりますが、平成26年2月14日夜半から関東・甲信越地方で急激に強まった降雪により、中央線、高崎線、東北線等の各線が相次いで運転見合わせとなり、最後まで不通であった中央線が19日早朝に運転を再開するまでの間、石油を輸送する貨物列車についても、空車回送列車も含めて、のべ139本の列車が運休となりました。

この影響により、一時各地の油槽所在庫の大幅な落ち込みが発生し、特に、甲府地区については適性在庫の約14%、長野県北信地方については同じく約35%まで落ち込みました。

そこで、各線運転再開後に、定期列車の貨車増結や臨時の石油列車を運転する等、油槽所の在庫量増加に努めた結果、3月9日現在、各油槽所とも適正な在庫量を回復しております。

なお今回、在庫量回復のため臨時に運転した石油列車は、以下のとおりです。

発 駅	着 駅	運 転 日	運転本数
陸前山王	盛岡(夕)	2 / 22	1
陸前山王	郡山	2 / 23	1
千葉貨物	郡山	3 / 2 - 2本, 9	3
根岸	宇都宮(夕)	2 / 16, 23 - 2本	3
川崎貨物	宇都宮(夕)	2 / 17, 19, 21	3
千葉貨物	倉賀野	2 / 22	1
川崎貨物	倉賀野	2 / 17, 19, 21, 23 - 2本, 24, 26, 28	8
根岸	坂城	2 / 22, 25, 26	3
川崎貨物	南松本	2 / 23	1
千葉貨物	南松本	3 / 1	1

発 駅	着 駅	運 転 日	運転本数
四日市	南松本	2 / 2 3, 3 / 2 - 2本	3
塩浜	南松本	2 / 2 3 - 3本	3
根岸	竜王	2 / 2 3, 2 6	2
根岸	川崎貨物	2 / 2 3	1
合 計			3 4

※「(タ)」は「貨物ターミナル」の略

※「-」は同日に複数の列車を運転したことを示します。

(例：3 / 2 - 2 3月2日に2本の列車が運転)